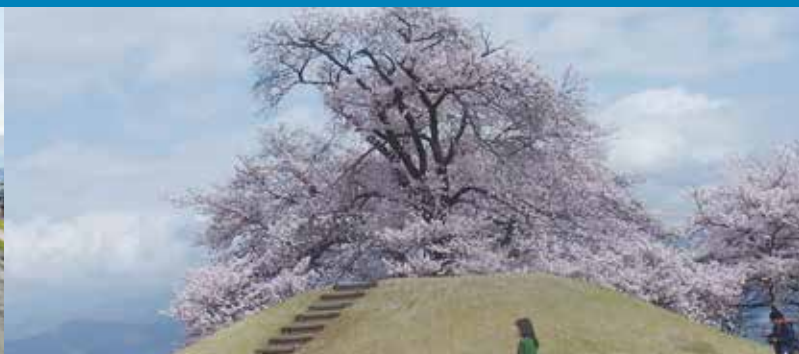


笛吹市 議会だより

令和5年4月24日発行

2023

Vol.74



FUEFUKI CITY

会期日程・議会日誌 ② 質疑および一般質問 ⑪

提出案件一覧表 ③ 委員会レポート ⑫

一般会計当初予算 ④ 市民リレートーク/編集後記 ⑬

質疑および代表質問 ⑥

2月議会・会期日程

- 2月14日(火) 議会運営委員会、全員協議会
- 2月21日(火) 開会
- 本会議
 - ・会議録署名議員の指名
 - ・会期の決定
 - ・市長施政方針
 - ・提出議案の説明
- 3月2日(木) 本会議 質疑および代表質問
- 3月3日(金) 本会議 質疑および一般質問
- 3月6日(月) 本会議 質疑および一般質問
- 本会議 質疑および一般質問
- 本会議 質疑および一般質問
- 各常任委員会(付託事件審査)
- 3月7日(火) 8日(水) 各常任委員会(付託事件審査)
- 3月9日(木) 常任委員会(予備日)
- 3月13日(月) 議会運営委員会、全員協議会
- 本会議
 - ・委員会審査報告・討論・採決
- 3月14日(火) 17日(金) 各常任委員会(付託事件審査)
- 3月23日(木) 議会運営委員会、全員協議会
- 本会議
 - ・委員会審査報告・追加議案
 - ・委員会審査・討論・採決
- 閉会

議会日誌 GIKAI diary

12月 December

- 1日 第14回笛吹市社会福祉大会
峡東地域広域水道企業団議会・代表者会議
- 2日 第4回定例会本会議(開会)
- 11日 新山梨環状道路用地杭打ち式
- 12日 第4回定例会本会議(一般質問)
- 13日 第4回定例会本会議(一般質問・付託)
- 14~15日 常任委員会
- 17日 第26回「俳句の里」山梨県笛吹市全国小・中学生俳句会表彰式
- 19日 山梨県市町村総合事務組合議会説明
- 20日 議会運営委員会、全員協議会
第4回定例会本会議(閉会)
- 21日 東八代広域行政事務組合議会・全員協議会
東八代広域行政事務組合議会本会議
- 23日 山梨県市町村総合事務組合議会臨時会
さくら温泉通りイルミネーション点灯式

1月 January

- 4日 笛吹市仕事始め式
- 6日 議会広報編集委員会
- 8日 笛吹市消防団出初式、笛吹市二十歳の誓い

10日 新春祝賀会

13日 令和5年交通安全祈願祭

16日 新道峠フォトコンテスト審査委員会

17日 笛吹市緑化推進会議総会

24日 定例全員協議会、議員研修(男女共同参画社会)

26日 釈迦堂組合議会、全員協議会・本会議

峡東地域広域水道企業団・全員協議会・臨時会

2月 February

1日 新道峠フォトコンテスト表彰式

3日 民生委員・児童委員研修会

6日 山梨県市議会議長会 議長・事務局長会議
山梨県市議会議長会 議員合同研修会(後期)

14日 議会運営委員会、全員協議会

15日 地下水審議会

17日 通告確認会議(通告確認および許可)

18日 峡東地域世界農業遺産認定記念フォーラム

20日 山梨県後期高齢者医療広域連合議会・議運・全協・定例会

21日 第1回定例会本会議(開会)

23日 「富士山の日」フェスタ2023

28日 議会タブレット操作研修会

議員活動と研修

令和5年1月24日(火) 地方議会における男女共同参画の推進について研修

令和3年6月に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が改正されたことを受け、笛吹市議会においても、研修を実施しました。今回の改正点について、参考資料と、内閣府の作成した再現動画を視聴することで、理解を深めました。

令和5年2月6日(月) 山梨県市議会議長会議員合同研修

「困難な時代に向けた自治体の在り方」について、別府市助役や、国立大学法人大分大学理事を歴任した「石川公一」氏から講義を受けました。

令和5年2月28日(火) 議会タブレット端末操作研修

議会運営に導入する、ペーパーレス会議システムの操作研修を実施しました。

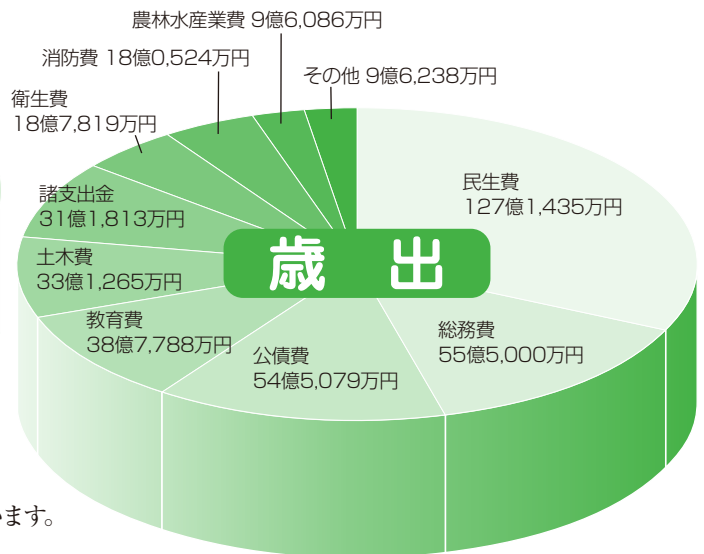
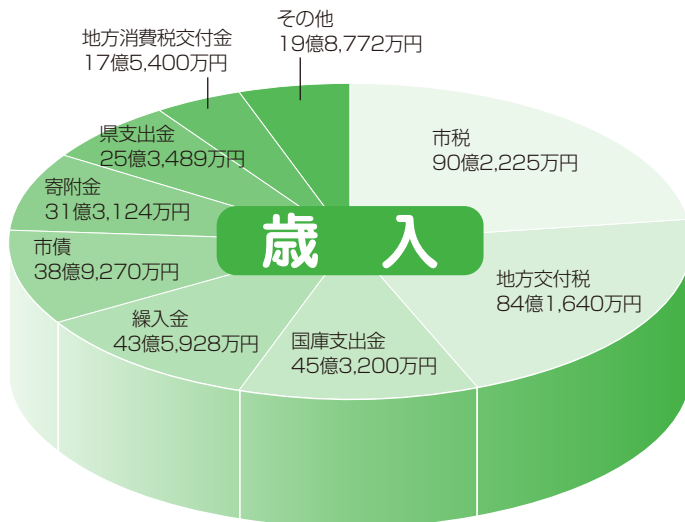
令和5年3月16日(木) 議員間討議(多目的芝生グラウンド)

市の重点施策の一つである、多目的芝生グラウンドについて、全議員での議員間討議を行いました。

令和5年第1回(2月)定例会提出案件一覧表

○賛成 ●反対
 ④賛成討論 ⑤反対討論
 (古屋始芳議長を除く)

種別	案 件 名	笛新会							笛政 クラブ		清心会		誠和会		公明党		日本 共産党		無会派		結 果
		海 野 利 比 古	保 坂 利 定	神 宮 司 正 人	荻 野 謙 一	神 澤 敏 美	武 川 則 幸	前 島 敏 彦	古 屋 始 芳	岡 由 子	落 合 俊 美	山 田 宏 司	河 野 正 博	小 林 始	中 村 正 彦	渡 辺 清 美	中 川 秀 哉	渡 辺 正 秀	河 野 智 子	野 澤 今 朝 幸	
条例 制定 改正	・ 市役所支所設置条例の一部改正 ・ 市職員給与条例の一部改正 ・ 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 ・ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 特別会計条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	
	・ 国民健康保険税条例の一部改正 ・ 国民健康保険条例の一部改正 ・ 福祉センター条例の一部改正 ・ 子ども・子育て会議設置条例等の一部改正 ・ 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正 ・ 公民館条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正 予算	・ 令和4年度笛吹市一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	
	・ 令和4年度笛吹市国民健康保険特別会計補正予算（第4号） ・ 令和4年度笛吹市水道事業会計補正予算（第2号） ・ 令和4年度笛吹市営春日居地区温泉給湯事業会計補正予算（第2号） ・ 令和4年度笛吹市公共下水道事業会計補正予算（第2号） ・ 令和4年度笛吹市一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
当初 予算	・ 令和5年度笛吹市一般会計予算	●	○	●	●	●	●	時		○	○	○	○	○	○	○	○	時	●	●	
	・ 令和5年度笛吹市一般会計予算に対する修正動議	○	●	○	○	○	○	●		●	時	●	●	●	●	●	●	時	○	時	否決
	・ 令和5年度笛吹市国民健康保険特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市介護保険特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市後期高齢者医療特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市農業集落排水特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市境川観光交流センター特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市森林経営管理特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市大積山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計予算 ・ 令和5年度笛吹市水道事業会計予算 ・ 令和5年度笛吹市営春日居地区温泉給湯事業会計予算 ・ 令和5年度笛吹市公共下水道事業会計予算 ・ 令和5年度笛吹市簡易水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	・ 普通財産の譲渡（かすがい東保育所）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	●	時	○	
	・ 市道認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人事	・ 副市長の選任 ・ 黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任 ・ 稲山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任 ・ 牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任 ・ 大口山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任 ・ 崩山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任 ・ 春日山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任 ・ 兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
発議	・ 笛吹市議会の個人情報の保護に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 令和5年度笛吹市一般会計予算に対する附帯決議	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	時	●	○	可決
選挙	・ 新倉外三字施業区恩賜県有財産区保護組合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	当選



※万円以下の数字は四捨五入しています。

歳入

市税	市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など
地方交付税	国が所得税、法人税などの国税の一定割合を市の財政力に応じて交付するもの
国庫支出金	国から交付される補助金など
繰入金	各種基金、他会計から繰り入れるもの
市債	道路や施設などを整備するための市の借金
寄附金	市に寄せられる、まちづくり寄附金、ふるさと納税寄附金
県支出金	県から交付される補助金など
地方消費税交付金	県が徴収した地方消費税の2分の1に相当する額を政令に基づき市に交付するもの
その他	財産収入

歳出

民生費	老人福祉、児童福祉、障害者福祉など
総務費	交通・防災の安全対策、広報活動、庁舎の管理など、戸籍事務、選挙などの経費
公債費	市債を返すための費用
教育費	小中学校などの教育環境の整備、スポーツ・生涯学習など
土木費	道路の新設整備や改修、河川の整備、市営住宅の管理など、公園整備や管理
諸支出金	基金などの積み立て
衛生費	健康予防、子育て支援など、環境衛生など、疾病予防、水道などの経費
消防費	消防、災害復旧
農林水産業費	農業・林業等の振興および整備
その他	商工費、議会費、労働費等

会計名			歳入 (収入)	歳出 (支出)
一般会計			396億3051万円	396億3051万円
特別会計	国民健康保険特別会計		76億252万円	76億252万円
	介護保険特別会計		69億9,210万円	69億9,210万円
	後期高齢者医療特別会計		17億7,146万円	17億7,146万円
	農業集落排水特別会計		5,970万円	5,970万円
	笛吹市境川観光交流センター特別会計		7,569万円	7,569万円
	森林経営管理特別会計		1,764万円	1,764万円
	恩賜県有財産保護財産区管理会(9特別会計)		6,678万円	6,678万円
	合 計		165億8,589万円	1,65億8,589万円
企業会計	水道事業会計	収益的	18億6,348万円	18億6,348万円
		資本的	4億6,899万円	10億5,048万円
	春日居地区温泉給湯事業会計	収益的	7,832万円	7,832万円
		資本的	158万円	286万円
	公共下水道事業会計	収益的	18億4,115万円	18億4,115万円
		資本的	10億1,095万円	16億8,877万円
	簡易水道事業会計	収益的	2,468万円	2,468万円
		資本的	528万円	623万円

令和5年度一般会計予算

総額 396億3,051万円を可決

前年対比 7億4,991万円 1.9%増

令和5年度予算 おもな使いみち

窓口業務DX事業 ▶ 5,381万円



御坂学童保育施設整備事業

▶ 1億9,525万円



新道峠展望台環境整備事業

▶ 1億4,206万円



私立保育所等施設整備事業

▶ 2億1,525万円



防災行政無線高度化事業

▶ 2億9,333万円



御坂中学校校舎等改築事業

▶ 3億105万円



●笛新会	武川	則幸議員	…6
●笛政クラブ	岡	由子議員	…8
●清心会	河野	正博議員	…10
●誠和会	中村	正彦議員	…12
●公明党	中川	秀哉議員	…13
●日本共産党	渡辺	正秀議員	…15

2月 定例議会

市民の声

質疑および代表質問

3月定例議会では、6会派を代表して6人の議員が代表質問に立ちました。以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。

問 山下市政の基本方針は



笛新会

武川 則幸 議員

武川則幸議員

①第2次総合計画における令和5年度版実施計画は。

②笛吹市下水道総合地震対策計画の策定は。

③新型コロナウイルスの感染症法の位置づけ変更による市民への影響と市の対応は。

答 積極的に事業展開

山下政樹市長

①42事業を重点事業に位置付けている。新規事業は24事業、積極的に展開する。

②令和5年度から令和9年度までの5年間で期間とした第3期計画を、今年度策定した。

③「2類相当」から「5類」への変更に伴い、医療費の公費負担やワクチン接種についての国の方針に沿い、市

として適切な対応を行う。

問 令和5年度当初予算は

武川議員

①新規事業および主たる事業の内容は。

②自主財源と依存財源、義務的経費と投資的経費、その他経費の令和4年度との比較は。

③令和4年度の財政運営状況は。

④市税収納率の現状と課題は。

⑤特別会計と企業会計予算の令和4年度との比較は。

答 重点事業として42事業に取り組む

山下市長

①主な新規事業は、御坂学童保育施設整備事業に1億9、525万円、空き店舗活用促進事業に

720万円、防災行政無線高度化事業に2億9、333万円を計上。継続事業は、多目的芝生グラウンド整備事業に4、244万円、新道峠展望台環境整備事業に1億4、206万円、防災備蓄倉庫整備事業に9、102万円を計上した。

②自主財源は、総額178億7、393万円、前年より12億7、915万円の増。主な要因は、寄附金、繰入金の増による。依存財源は217億5、660万円、5億2、923万円の減。主な要因は市債、国・県支出金の減。義務的経費は184億2、997万円、3億2、247万円の増。人件費、扶助費、公債費のいずれも増。投資的経費は46億228万円で、5億2、897万円の減。

③令和4年度の財政運営状況は、主要因は浅川中学校校舎等改修事業費の減。その他経費は165億9、826万円、9億5、642万円の増。主な要因はふるさと納税寄附額の増に伴う物件費、積立金の増。

④令和3年度収納率は93.4%、前年より2.1ポイント上昇。今年度は過年度分の困難事業に対応するチームを編成、目標の95%達成に向け取り組んでいる。

⑤特別会計は165億8、589万円で、3億7、306万円の減。主な要因は、国保特別会計の保険給付費の減。公営企業会計は65億5、601万円で、2億4、522万円の減。主な要因は、水道事業および公共下水道事業会計の建設改良費、公営企業償還金の減。

問 子育て環境の充実整備は

武川議員

①市の人口の現状と、人口減少対策は。

②妊娠初期に精神的・身体的不安を和らげ、安心して出産できるよう経済的支援に取り組む考えは。

③公園維持管理事業および都市公園長寿命化計画に基づく整備予定は。

④保育中に使うおもむつの無償提供は。

⑤学校給食の恒久的な無償

み。最終的には90%程度を見込んでいる。

④令和3年度収納率は93.4%、前年より2.1ポイント上昇。今年度は過年度分の困難事業に対応するチームを編成、目標の95%達成に向け取り組んでいる。

⑤特別会計は165億8、589万円で、3億7、306万円の減。主な要因は、国保特別会計の保険給付費の減。公営企業会計は65億5、601万円で、2億4、522万円の減。主な要因は、水道事業および公共下水道事業会計の建設改良費、公営企業償還金の減。



化は。
⑥御坂中学校の校舎等改築事業の工事内容と工程は。

答 **安心して出産や子育てができるよう取り組む**

山下市長 ①平成27年の国勢調査時の69、559人から、令和2年10月の66、947人へと、5年間で2、612人減少。人口減少対策として第2期笛吹市まち・ひと・しごと創生総合戦略を令和2年3月に策定し取り組んでいる。

②令和5年度からは、産前産後ケアセンターでの利用者負担の減免や、多胎児妊娠の追加健診費用の助成に取り組む。

③八代ふるさと公園の遊具の更新、藤笠の滝・大窪癒しの杜公園の照明施設整備を計画している。

④今後研究していく。

⑤財源確保等を含めて総合的に検討していく。

⑥令和5年度に仮設校舎設置、部室棟改築、屋内運動場のトイレ改修と防球ネット増設、令和6年度から7年度にかけて校舎改築、柔剣道場改修と外構整備を予定。

問 **多目的芝生グラウンド整備検討の進捗状況は**

武川議員 ①400mトラックを中心とする陸上競技施設を含める考えは。

②基本計画の策定は。

答 **3月3日に基本計画を示す**

山下市長 ①400mトラックを含めた陸上競技施設の整備には、市の想定の上の面積が必要となるため、切り離して検討していく。

②検討委員会から答申のあった基本計画案を基に、議会からの意見を参考にした上で、3月3日の議会全員協議会で示す。

問 **産業振興と観光施策は**

武川議員 ①海外からの観光客の取り込み施策は。

②市の観光情報の効果的な発信は。

③トレーニングコース利用者の安全確保は。

④「企業立地促進事業助成金」の交付状況、「企業立地奨励金」「地域経済牽引事業促進区域における固定

資産税課税免除」「企業等振興支援条例」の実績は。

⑤石橋産業導入地区の道路改良、上下水道施設整備事業の現状は。

⑥笛吹みんなの広場の運営状況と利用者増を図る活用策は。

⑦新環状道路関連道路整備事業の用地補償契約の進捗状況は。

⑧市営みさかの湯、いちのみやももの里温泉の改修工事は。

⑨市道127号線、通称「直進道」の植樹ます改修は。

答 **観光情報を積極的に発信**

山下市長 ①市の海外向けウェブサイト「ピーチシテイー」にタイ語を追加した。今後は、成田空港のトラベルセンター案内所に、外国人向けパンフレットを設置するほか、SNSを活用して積極的に情報発信する。

②市のホームページ、観光情報に特化したサイト「ふえふき観光ナビ」などで随時発信する。

③市指定の12コースのうち9カ所は市、観光物産連盟および笛吹警察署が共同で、

3カ所は地元行政区が安全点検を行っている。倒木伐採なども実施している。

④過去5年間、「企業立地促進事業助成金」の交付実績は5件。「企業立地奨励金」の交付実績はない。

「地域経済牽引事業促進区域における固定資産税課税免除」は8件。「企業等振興支援条例」は5件。

⑤県道白井甲州線北側の市道5287号線の改良は終了。大坪浸水対策調整池北側エリアの企業誘致に併せた市道5277号線の整備を継続する。

令和5・6年度に、上水道配水管342m、下水道管渠359mの敷設、舗装復旧4、300平方mの整備を予定している。

⑥今年度、28イベントが開催され約5万人が訪れた。特設サイトを4月から公開できるよう準備中。

⑦令和4年度末、事業費ベースで70%、取得面積ベースで93%になる。令和6年度中の完了を目指している。

⑧両施設は順次、計画的に大規模改修を行う。令和5年度は、いちのみやももの里温泉の改修の実施設計に

着手する。

⑨地域の意見を伺いながら、植樹樹の必要性を含め、安全で快適な歩道の改修を検討していく。

問 **農林業の振興は**

武川議員 ①米国産桃の輸入規制解除と今後の対応は。

②果樹輸出のための専用選果レーン導入は。

③森林のナラ枯れ被害は。

答 **全国の桃産地の結束を図る**

山下市長 ①現在、日米両国間で検疫対象の病害虫の選定について協議している。7月の第3回全国桃サミットの間を活用し、産地の結束を図る。

②輸出货量の推移を注視し、必要に応じて検討する。

③令和4年度は255本の被害が確認され、薬剤による殺虫と切り倒しなどの処理を行った。

問 **安心、安全で災害にも強いまちづくりは**

武川議員 ①地区防災計画策定事業の令和5年度の取り組みは。

②避難行動要支援者台帳登録者数と個別避難計画作成は。

③道路構造物長寿命化事業の現状と取り組みは。

④上下水道事業の給水原価と供給単価、水道管路や配水場、浄水場の耐震化率および管網計算による管路更新計画の現状は。

⑤公共下水道事業会計の一般会計からの繰入金、汚水処理原価と使用料単価の現状は。

⑥公共下水道事業の進捗と今後の整備方針は。

⑦御坂農村環境改善センター撤去に伴う関連施設整備は。

⑧空家等解体費支援事業は。

答 **地区防災計画策定支援を未策定の行政区に展開**

山下市長 ①土砂災害警戒区域内にモデル地区を選定し、ひな型やマニュアル作成を支援する。

②1月末現在、2、632人が登録。令和6年度末までに、個別避難計画確定版の配布を完了する予定。

③万年橋および早期補修により長寿化を図る必要のある4橋の工事を計画している。

る。主要路線の市道1・20号線の舗装打ち替え工事を、御坂町および一宮町地内で計画している。

④令和3年度決算では1立方m当たりの給水原価は186・3円、供給単価は151・7円。耐震化率は水道管路が11・2%、配水場・浄水場は40・6%。管路更新計画は整備地区の優先順位を決め、今年度中に策定。

⑤繰入金は2月補正予算で1、500万円減額し、9億1、057万円の予定。出資金は5億5、641万円。令和3年度決算で、汚水処理原価は150円、使用料単価は130円。

⑥整備進捗率は79・7%。今後は地区要望を精査し、住宅密集地および商業地を優先的に進める。

⑦令和5年度、解体工事と機能移転先の御坂福祉センターの改修を行う。

⑧今年度、事業完了が4件、2月時点で申請中が1件。

問 **新型コロナウイルス感染症対策などは**

武川議員 ①ワクチン接種状況は。

②ワクチンの副反応による健康被害は。

答 **ワクチン接種率5回目は28・67%**

山下市長 ①2月8日現在、接種件数は延べ24万141件。接種率は1回目85・38%、2回目84・91%、3回目69・31%、4回目49・64%、5回目28・67%。

②接種後に体調に異変をきたした7人から健康被害救済制度の給付請求があった。現在、2人が給付認定を受け、5人は国の審査中。

③市が独自に1万5千円を上乗せした「生活困窮者緊急生活支援金支給事業」、1世帯5万円を給付する「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給事業」を実施した。低所得で求職活動などの一定要件を満たした世帯を対象に、最大10万円を最長3カ月間支給する「生活困窮者自立支援金支給事業」を行った。

小中学生のいる困窮した200世帯に、夏休みおよび冬休み期間中、食料品を届ける「子ども家庭支援事業」を実施した。

業」を実施した。

問 **議会の活動拠点整備は**

武川議員 ①議会活動に関わる八代庁舎の改善は。

②市執行部タブレット端末導入事業は。

答 **検討する**

山下市長 ①委員会室、会派室は議会の意見集約を受けて検討したい。

②議員と足並みをそろえ、今議会から試行的に導入する予定。



笛政クラブ

岡 由子 議員

問 **令和5年度当初予算は**

岡由子議員 ①令和5年度の主な事業は。

②子ども関連事業費は。

③コロナ禍以前に実施していた文化祭などへの支援は。

答 **主な事業は多目的芝生グラウンド整備事業など**

山下市長 ①多目的芝生グラウンド整備事業、御坂学童保育施設整備事業、新道峠展望台環境整備事業、空き店舗活用促進事業、防災

行政無線高度化事業等。

②芦川地区に、令和7年度に学童保育施設を設置するため、設計費279万円を計上した。老朽化した石和第一保育所の整備事業に5、053万円、私立保育所等施設整備事業に2億1、525万円を計上した。

③令和4年度、各町の文化協会へは、石和町に40万4千円、御坂町に48万1千円、一宮町に51万2千円、八代



町に42万円、境川町に20万9千円、春日居町に41万9千円の補助金を交付した。

問 障害者基本条例の制定は

岡議員 ①県内市町村の条例の制定状況は。

②条例への市民の声の反映方法は。

③条例の内容は。

答 条例案作成後、パブリックコメント実施予定

山下市長 ①障害者基本条例を制定している県内市町村はないが、山梨県が差別解消条例としての「山梨県障害者幸住条例」、上野原市と市川三郷町が「手話言語条例」を制定している。

②地域自立支援協議会を設置して課題を共有し、論点整理を行った上で、市民とのワークショップで出された意見等を踏まえ、条例骨子案の作成に取り組んできた。今後パブリックコメントを実施する予定。

③共生社会の実現に向け、人権保障を目的に手話言語を含めた情報保障、障害者差別の解消、虐待防止などを盛り込む。

問 高齢者のごみ出し支援は

岡議員 高齢化が急速に進展している。高齢者のごみ出しに対するサポートは喫緊の課題。検討状況は。

答 ワンコインサービス利用に半額補助

山下市長 令和5年度は、新規事業として「高齢者のごみ出し支援事業」を実施するため、835万円を計上した。ごみ出しにシルバー人材センターのワンコインサービスを利用した場合、半額の250円を補助する。

問 FUJIYAMA ツインテラスの活用は

岡議員 ①今年度の早朝ツアーは。

②アサギマダラが好む植栽活動は。

③フォトコンテストの実施予定は。

答 SNSを利用し写真投稿を募る

山下市長 ①昨年度は、石和温泉郷宿泊者対象で実施し、1日平均15人が乗車し好評だった。今年度は、だ

れでも乗れるツアーとしたが、5人平均と伸び悩んだ。今後については、開催方法について旅行会社や石和温泉旅館協同組合と協議する。

②昨年7月、すずらん群生地周辺にフジバカマ100株を植栽した。

③昨年11月に実施したコンテストには167点もの応募があり、入賞作品はオリジナル記念切手として、市内郵便局で3月20日から販売される。来年度以降はコンテストではなく、SNSでより多くの方に気軽に投稿していただき、市のポータルサイト「ふえふき観光ナビ」に掲載したいと考えている。

問 さくら温泉通りイルミネーションの活用は

岡議員 ①イルミネーションの色や点灯時間の変化は告知方法は。

②ナイトマーケットやクリスマスマーケットなどのイベントの評価と本年の実施予定は。

答 情報を早期発信し集客目指す

山下市長 ①12月23日から

2月14日までの期間中、午後5時から10時まで実施した。オフホワイトとシヤンパンゴールドの2色に切り替えられる。新聞広告、ホームページやSNS、「ふえふき観光ナビ」などで情報発信した。

②週末の土日を中心に10日間開催、延べ104軒が出店し、1、205人の来場者があった。冬季の新たな取り組みとして楽しんでいた。来年度は内容や期間を早期決定し、情報発信すること、さらなる集客目指す。

問 スイーツマラソンは

岡議員 ①今後の開催予定は。

②本市ならではのイベント内容は。

答 令和5年度実施について主催者と協議中

山下市長 ①2月5日のスイーツマラソンには、1、060人が参加した。令和5年度の実施については、主催者のJT B甲府支店と協議中。

②観光農園やワイナリーと

協力し、旬の桃やぶどうの食べ歩きなど、笛吹市ならではの参加型イベントの企画を検討する。

問 図書館や文化財でのイベントは

岡議員 ①教育文化関連施設の数とそれぞれが実施したイベントの内容は。

②コロナ禍以前に実施していたイベントの再開予定は。

③コロナ禍で中止となった文化協会の活動発表への今後の支援は。

答 コロナ禍以前に戻りつつある

山下市長 ①社会教育施設が15カ所、公立の美術館・博物館が6カ所、図書館が5カ所。今年度は利用制限が緩和され、サッカー元日本代表の大久保嘉人氏のスポーツ講演会や、県警音楽隊演奏会などの大規模イベントも開催され、コロナ禍以前の状況に戻りつつある。

②3月11日には、黒田杏子氏を講師に迎え、4年ぶりに「飯田龍太を語る会」を再開する。

③コロナ禍以前と同様に支援していく。



清心会

河野 正博 議員

問 市政全般は

河野正博議員

- ① 社会情勢や経済情勢を踏まえた笛吹市の将来予測は。
- ② 予測に立った市政運営は。
- ③ 多様な市民の声を市政に生かす施策は。
- ④ 職員のコンプライアンス向上の意識改革施策は。
- ⑤ 行財政改革における今年度の施策は。
- ⑥ 今年のスローガンを踏まえ職員に期待することは。

答 アフターコロナを見据え積極的に取り組んできた

山下乡長

① ② 落ち込んだ地域経済や厳しい家計の状況にある市民生活を課題として捉えている。アフターコロナを見据え、新道峠展望台の整備等を実行、反転攻勢に向けた事業に取り組んできた。社会経済活動の

再開を契機にこれらの取り組みが実を結び、いち早く地域経済の回復に寄与できると信じている。

- ③ 各種計画策定時には、アンケート調査やパブリックコメントなどを実施し、市民ニーズの把握に努めている。重要な施策を進める場合は、市民との意見交換会を実施し、相互理解を図っている。
- ④ 昨年8月、外部講師を招き全職員を対象に、1月には、市の危機管理アドバイザーを講師として、管理職を対象に「コンプライアンス研修」を実施した。
- ⑤ 業務改善に取り組むとともに、デジタル技術を取り入れ、職員が行っていた定型の入力作業を自動化できるRPAや、人工知能を

活用してよくある問い合わせに自動で返答するチャットボットを導入し、業務の効率化を図り、新たな行政ニーズに対応する。

⑥ 今年の行動テーマは「目的を問い、責務を果たす」を掲げた。責任と自覚をもって行動することを期待している

問 令和5年度当初予算は

河野議員

- ① 増額要因は。
- ② 経済のV字回復に向けた重点政策は。
- ③ SDGs関連の重点施策と予算は。
- ④ コロナ関連の歳出予算額と主な施策は。
- ⑤ ふるさと納税の令和4年度予測と令和5年度の取り組みは。

答 22の新規事業に取り組む

山下乡長

① 重点事業を前年度より4事業増やした上で、22の新規事業にも取り組む。さらに、ふるさと納税寄附金の増額に伴い、当該事業費およびまちづくり基金積立金が増加したこと

② 「新道峠展望台環境整備事業」では、特産品PRなどを目的とした売店や休憩所を設置し、集客交流拠点として整備する。「多目的芝生グラウンド整備事業」では、市民の活用を主としながらも、大会開催やスポーツ合宿誘致など、地域経済への波及効果を目指すスポーツツーリズムにも活用できるように推進する。

- ③ 「学校給食アレルギー対応事業」1、293万円、「空き店舗活用促進事業」720万円、「果実盗難防止システム構築事業」233万円を計上。重点事業のそれぞれがSDGsの掲げる目標の達成に資するもの。
- ④ 予備費を含め2億5、506万円を計上。主なものは、学力向上支援スタッフ追加配置事業に7、574万円、スクール・サポート・スタッフ配置事業に1、860万円、御坂と八代のスクールバス増便費用に1、524万円。
- ⑤ 令和5年2月末現在30億7、346万円で、令和4年度末は31億円と見込んでいる。令和5年度は人気の

問 長期継続大型公共事業は

河野議員

- ① 市道1・13号線（砂原橋）改良工事は。
- ② 大坪浸水対策事業の今後の見通しは。

答 大型事業の計画的な実施が不可欠

山下乡長

- ① 遅れが生じ心配をおかけしたが、この度竣工の運びとなった。
- ② 着工後、想定していた機能に疑義が生じたため、事業を一時休止し、照査を実施し改善対策を行っている。今後は、地域住民の安全確保のために、一日も早い完成を目指す。

問 行政区要望は

河野議員

- ① 行政区要望についての所見は。
- ② 再要望案件のとりえ方は。
- ③ 要望の可否判断の基準と明確な回答は。
- ④ 要望に応えられる予算の増額は。



点数化した基準で 実施の可否を判断

山下市長 ①生活道路や水路の修繕など、行政区だけでは解決が難しい課題であると認識している。

②再要望案件は、市において緊急性や公益性に応じて優先順位付けを行った結果、事業実施に至らなかった案件。これまで市から行政区に回答した内容では、優先順位が低いことが伝わらず、再提出につながっている。

③今年度から、農林土木課と土木課への要望には、緊急や公益性などを点数化する基準を用いて、実施の可否を判断している。再提出の可否を検討いただけるよう、分かりやすい表現で回答したい。

④国・県の補助事業なども積極的に活用し、適切な予算措置を講ずる。

高齢者に対する 行政サービスは

河野議員 ①保健事業と介護予防の令和5年度当初予算額と重点施策は。

②介護認定と介護サービス事業の令和5年度当初予算

額と重点施策は。

③高齢者の社会参加と生きがい支援の施策は。

④介護保険料の市民負担軽減は。

自立し、自分らしい 生活が送れるよう支援

山下市長 ①高齢者の保健

事業と介護予防の一体的実施事業が143万7千円。令和5年度は、健康診査の未受診者などの実態把握を行い、受診や必要なサービスにつなげることを重点的に実施する。

②介護認定事業費が5、368万6千円、介護サービス給付費が66億1、507万2千円。「高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」が令和5年度で満了する。令和8年度までを計画期間とする次期計画の策定を行う。

③新規事業として、健康づくりや趣味活動を行う団体の活動を支援する「アクティブシニア応援事業」を実施する。

④健康な高齢者を増やすとともに、介護が必要になっても、介護度を重度化させないことが重要。

笛吹みんなの広場は

河野議員 ①実施した施策の成果と課題は。

②新たな施策は。

③遊具設置の要望は。

④芝生用の散水設備の改修は。

⑤今後の対応は。

各種イベントに活用

山下市長 ①オープン以降、

28回のさまざまなイベントが実施された。宿泊の問い合わせも多数あり、参加者数以上の成果があった。知名度アップが課題。

②民間事業者の活用促進、宿泊滞在型イベントの誘致に努める。4月から市ホームページ内に、広場利用の特設サイトを設ける。

③④⑤計画的な整備、適切な管理に努める。

多目的グラウンド 計画は

河野議員 ①基本計画策定の進捗状況は。

②議会各派から提出した要望の取り扱いは。

③計画策定前の議会研究会

への説明は。

④市民や近隣住民への説明や声を聴く機会は。

基本計画を示す

山下市長 ①②③議会から

の意見も参考にした上で、最終段階の調整中。3月3日の議会全員協議会でお示ししたい。

④市民や建設地周辺の住民への説明会開催を考えている。

巨大地震に備える 防災対策は

河野議員 ①防災危機管理課の重点施策は。

②重点的に行うべき事前対策は。

③地震発生後の対策は。

④リスクマネジメントは。

⑤迅速な災害対策本部設置は。

⑥正確な情報収集と的確な災害支援要請は。

⑦行政区の防災訓練は。

⑧避難経路の安全確認調査は。

⑨被災地救助に参加した、消防本部職員の経験を生かす啓蒙活動は。

万全を期す

山下市長 ①重点施策として防災関連計画の策定、地区防災計画策定支援、防災備蓄倉庫整備、防災行政無線高度化の4つの事業に取り組む。

②防災訓練を通して、命を守る安全確保行動、避難や安否確認の理解を深める。家族の取るべき行動を時系列に整理するためのマイタイムラインの作成、家具転倒の防止、備蓄品や非常持出品の用意が重要。

③避難所運営の初動マニュアルを整備する。

④南海トラフ地震およびこれを上回る被害が想定されている直下型地震の2段階でリスクを想定し、被害想定に合わせた業務継続計画を策定する。

⑤震度6弱以上で、全職員が指定先に参集する災害対策本部体制を取り、市役所本館301会議室に本部を設置する。

⑥令和4年度から、電子地図上に被害箇所を図示し、情報共有できるシステムを運用している。

⑦地区防災計画の作成を促進している。

⑧計画作成時に「まち歩き」を行い、危険箇所や消防水

利、一時避難所などを防災マップにまとめる。

⑨被災地での体験を出勤学習会のメニューに加える。



誠和会

中村 正彦 議員

問 令和5年度当初予算編成方針は

中村正彦議員

①総合計画の3つの基本目標ごとに、特に注力する施策は。

②新型コロナウイルスが「5類」となることによる、市民や学校への影響と予算確保は。

③マイナンバーカードの交付率と交付税は。

④電気、石油、ガスなどの高騰に対する支援は。

答 御坂学童保育施設整備に1億9,526万円

山下市長 ①「こころ豊かに暮らせるまち」では、多目的芝生グラウンド整備事業、御坂学童保育施設整備事業、「にぎわいあふれる

まち」では、新道峠展望台環境整備事業、「100年続くまち」では、防災行政無線高度化事業、窓口事務DX事業。

②全額公費負担の入院や外来の医療費は、5類移行で自己負担が生じる。国では急激な負担増を避けるため、自己負担分に関わる一定の公費負担について期限を区切って継続するとしている。

5類移行の具体的な方針が示された際は、適時適切に予算編成を行う。

③1月末現在、全国平均60・1%に対して、61・2%。国は、マイナンバーカ

ード交付率に比べて、普通交付税500億円を配分するとしているが、詳細は不明であり、本市では当初予算には見込んでいない。

④小中学校や保育所等の給食食材料費高騰分に対する支援を新年度も継続し関連予算3,023万円を計上。

子育て 少子化対策は

問 子育て 少子化対策は

中村議員

①子ども家庭庁に対応する地域全体で取り組む仕組みづくり、方策は。

②出産費用増額や健診支援を増やす考えは。

③給食費や修学旅行費の公費負担は。

④幼稚園や学童の送迎体制の問題と指導は。

⑤保育士の虐待事件を受けて、市内保育所などの点検、指導は。

⑥教育支援センター「ステラ」の現状と課題は。

答 こども家庭センターの運用開始に向け準備

山下市長 ①本市では、令和4年度に子供すこやか部を創設した。令和6年4月の「こども家庭センター」の運用開始に向け準備を進

めている。

②本年1月から、国の交付金を活用した「出産・子育て応援交付金事業」を実施している。妊娠届出時から2歳までの家庭に寄り添う伴走型相談支援と、妊娠期および出産期に各5万円を支給する経済的支援を、一体的に行っている。令和5年度から、産前産後ケアセンターでの産後ケア事業の利用者負担の減免や、多胎児妊娠を対象とした追加健康診査費用を助成する。

③給食食材料費の高騰分に対する支援を、新年度も継続する。保育所では、年収360万円未満相当の世帯の3歳から5歳児までの副食費を無料とし、学校給食費は、経済的支援を必要とする家庭には、全額または2分の1を補助している。

修学旅行費は、全児童生徒を対象に、最大1人当たり小学生8、200円、中学生1万400円を公費負担し、経済的支援を必要とする家庭には、就学援助費として、小学生2万2、690円、中学生6万910円の補助を行っている。

④痛ましい事故を受け、バスを所有する保育施設1園に対し、独自に緊急点検調査を行い、安全管理の徹底を指導した。市内幼稚園は、管轄する県の子育て政策課が同様の調査・指導をしている。児童を送迎している御坂および一宮の学童保育クラブでは、業務委託しているシルバー人材センターに対して、指導を行った。

私立保育所などの送迎バスへの安全装置設置費用を補助するための補正予算を計上した。

⑤市内保育所などへ「不適切な保育の未然防止及び発生時の対応についての手引き」「人権擁護のためのセルフチェックリスト」により指導した。

⑥定員30人に対して25人が通室している。個々人に応じた学習や活動を通じ、学校復帰や社会的自立に向けた生活習慣づくりなどの支援を行っている。継続通室が難しい児童生徒に対し、関係者の効果的な連携が課題。



問 観光振興策は

中村議員 ①コロナ対策として実施した商工業および観光業への景気対策事業の実績と今後の支援策は。

②市を訪れた国内外の観光客数の5年間の推移は。
③世界農業遺産を活用した観光への取り組みは。

答 地域の魅力を高め 来訪者増につなげる

山下乡長 ①小規模事業者支援金給付事業が2、045件、2億450万円。旅客関連事業者支援金交付事業が26件、3、040万円。観光関連事業者支援金交付事業が143件、2、550万円。創業持続化支援給付金給付事業が18件、450万円。笛吹市消費キヤンペーン事業が33万2千件、5億440万円。ハートフルタウン笛吹商品券事業が68、702件、6億7、600万円。

今後、貨物運送事業者燃料価格高騰支援金交付事業、空き店舗活用促進事業などの支援策を実施する。
②平成29年が311万4千

人、平成30年が295万6千人、令和元年が298万3千人、令和2年が148万6千人、令和3年が181万8千人。外国人の宿泊者数は、平成29年が19万9千人、平成30年が25万4千人、令和元年が17万6千人、令和2年が1万6千人、令和3年が496人。

③世界農業遺産認定後、直ちに、国内外の方々へPRするため、のぼり旗やポスターを作成し、石和温泉駅観光案内所や市内の旅館等に掲出。今後は、市場には出回らない希少価値の高い桃、ぶどうを食べるプランなど、さまざまな観光コンテンツを旅行業者と造成していく。また、峡東地域世界農業遺産推進協議会と市が行う役割をしっかりと分担し、市独自の取り組みを積極的に進める。

問 ふるさと納税は

中村議員 ①令和4年度の、ふるさと納税の寄付額と目的別の状況は。

②返礼品の考えと今後の方針は。
③ふるさと納税事業の運営

やプロモーションに関する今後の方針は。

答 より効果的なプロモーションを展開する

山下乡長 ①令和5年2月末現在、30億7、346万円。「実り多い産業と人々が集うまちづくりを推進するための事業」に9億7、078万円、「環境にやさしく、安心して健やかに暮らせるまちづくりを推進するための事業」に2億5、583万円、「地域の将来を担う子どもたちの健全育成を推進するための事業」に7億3、241万円、「市民協働のまちづくりを推進するための事業」に3、673万円、「その他事業」に10億7、771万円。

②本市の返礼品の約7割が桃、ぶどうなどの果物であり、寄附額の増加に向けて、人気が高いシャインマスカットを中心に、さらに取扱数を増やすための方策が必要と考えている。
③業務委託の範囲を拡大し、ポータルサイトの効果的な運用、魅力的なパンフレットやPR動画の製作、SNSによる情報発信等により効

果的なプロモーションを展開。

問 学校給食の 食物アレルギーは

中村議員 ①アレルギー除去食を提供するために必要な調理場の設備や体制は。

②アレルギー除去食の調理スペースがない調理場の改修予定は。
③すべての子どもが安心しておいしい給食を食べられるようにする取り組みは。

答 調理室改修などを 実施する

山下乡長 ①設備は、専用

の調理室、専用の食器と配送用の収納用品が必要。体制は、栄養士および調理員の確保、保護者との情報共有、校内体制の確立が必要。
②令和5年度に御坂学校給食共同調理場と八代学校給食センター、令和6年度に春日居学校給食共同調理場と石和中学校の調理場の改修を予定している。
③アレルギーを除去した献立の工夫、食物アレルギーへの理解を深める学級指導、食物アレルギー発症時における教職員の対応力向上等に取り組む。



公明党

中川 秀哉 議員

問 令和5年度予算編成は

中川秀哉議員 ①主な公共施設、インフラ整備は。

②防災・減災および防犯対策は。

③子育て支援策は。
④高齢者・障がい者支援対策は。
⑤市民生活向上に向けた施

策は。
⑥ハートフルタウン笛吹・
山下乡政2期目の評価と課
題は。

答 御坂中学校校舎等 改築事業に計上

山下乡長 ①御坂中学校校舎等改築事業に3億105万円、新山梨環状道路関連道路整備事業に5億6、317万円、市道1・5号線・1・8号線道路改良事業に1、050万円を計上した。
②防災行政無線高度化事業に2億9、333万円、防犯カメラネットワーク化事業に124万円を計上した。
③御坂学童保育施設整備事業に1億9、525万円、芦川地区学童保育施設整備事業の設計費に279万円を計上。石和第一保育所施設整備事業の用地取得に5、053万円、老朽化が進む私立保育所等施設整備事業に2億1、525万円を計上した。
④高齢者ごみ出し支援事業に835万円、アクティブシニア応援事業に100万円を計上した。
⑤多目的芝生グラウンド整

備事業に4、244万円、窓口事務DX事業に5、381万円を計上した。
⑥2期目のスタートに当たり、新たに取り組みたいこととして職員に示した39項目の内、実現または着手済みの取り組みは37項目となっている。

人口減少による社会の担い手や地域経済の縮小が懸念される。中期的には、子育て世代や若者の転出抑制と転入促進による社会増を目指すとともに、長期的には、結婚や子育てを地域ぐるみで応援する機運の醸成を図っていく。

笛吹市の

将来展望は

中川議員 ①地方版デジタル田園都市構想総合戦略策定は。
②移住定住人口、企業誘致を増やすための地域ビジョンは。
③公共施設統廃合によるインフラ整備の推進計画は。
④駅前商業施設へのサテライト行政機能の整備は。
⑤「書かない窓口」「行かない窓口」の推進は。

答 移住定住人口の増加・ 企業誘致を推進

山下乡長 ①国・県の総合戦略を踏まえ、令和5年度中に、笛吹市総合戦略の改定を目指す。デジタル技術を生かした地方創生を推進する。

②二地域居住、地方創生テレワーク、ワーケーション環境の整備、工業団地エリアの拡大など、全国の事例を研究し推進したい。

③17の個別施設計画、16の長寿命化計画を策定し、中長期的な維持管理や改修コストの平準化に努め、集約化、複合化、廃止などを計画的に進めている。

④考えていない。支所を含む市役所庁舎等で対応できている。

⑤新年度は、戸籍住民課の住民異動届について、内容確認とサインのみで完了する「書かない窓口」を導入する。来庁せずに申請できる手続きを増やすため、住民票や印鑑証明書に加え、戸籍証明書のコンビニ取得を始める。

問 子育て支援政策は

中川議員 ①県のヤングケアラー実態調査報告書に対する、本市の評価と今後の取り組みは。

②子どもの貧困、虐待、いじめなどへの対策は。
③非課税世帯、ひとり親世帯を対象とした市単独型の経済・生活の支援策は。

④給食費・副食費の無料期間の延長は。

答 子どもが安心して 相談できる体制の充実

山下乡長 ①笛吹市の有効回答は2、173件で、ヤングケアラーとの回答が14件0・6%。県全体では0・8%。支援体制の強化、啓発活動の展開に努めている。

②関係機関の情報共有が課題。令和5年3月から、国の仕様に準拠した児童相談システムを導入し、庁内の連携強化を図る。

③食料品を届ける「子ども家庭支援事業」「子どもの学習・生活支援事業」を引き続き実施する。市単独での新たな支援事業の予定は

ないが、国・県の動向を注視しながら、必要な支援策を検討する。

④令和5年度において保育所の給食費を無料化する考えはないが、給食食材費高騰分に対する支援を1年間継続する。

問 学習支援は

中川議員 ①ネットやSNS依存の危険性に関する学習指導は。

②安心して登下校するための公共交通の利用は。
③不登校の小中学生に対する、行政、学校、地域、民間などが連携した支援は。

答 関係機関と連携し 学習や生活支援を充実

山下乡長 ①スマートフォンの適切な利用、情報モラル教育に努めている。

②小学生は原則徒歩、中学生は徒歩または自転車としている。一部地域はスクールバスを運行している。

③本年度から、教育支援センター「ステラ」を開設し、不登校児童生徒の柔軟な学びを保障している。



問 産業活性化は

中川議員 ①物価高、燃料費高騰に伴うハウス農園事業者支援は。
②商工業者支援の新たな市単独の経済対策は。

答 燃料価格高騰支援金 交付事業などを計画

山下市長 ①燃料価格の高騰時に補填金を交付する施設園芸セーフティネット構築事業への加入は現在84件。農協などと連携し、加入促進に努める。
②貨物運送事業者燃料価格高騰支援金交付事業、空き店舗活用促進事業などを計画している。

問 その他

中川議員 ①SDGs達成に向けた取り組みは。
②所有者不明の犬猫不妊手術奨励事業の拡充は。

答 ハートフルタウンは SDGsの理念と重なる

山下市長 ①市の将来像「ハートフルタウン笛吹」の実現に向けた取り組みは、

SDGsの理念と方向性が重なるとの考えの下、各事業を展開している。
②飼い主のいない猫について、県は補助事業の継続を検討しており、市として適

宜対応する。飼い主のいない犬の不妊手術の助成については、県や他市の動向を注視し、必要性の有無等を検討する。



日本共産党

渡辺 正秀 議員

問 安保3文書と大軍拡に対する所見は

渡辺正秀議員 ①ASEAN等、アジアの「平和の枠組み」構築の流れを無視していることが、軍拡と軍事同盟強化に向かわせていると思うがどうか。

②軍事ブロック体制強化は、アジアの平和構築の努力と歴史に反すると思うがどうか。
③経済、科学技術、諸団体、思想の自由を制限し、防衛体制・軍事に総動員することをつたっている。
④大軍拡の財源確保のため、大増税、国民負担の拡大、

福祉の切り下げになることは明らかでは。

⑤敵基地攻撃能力の保有、軍事同盟強化は軍拡競争を拡大し、戦争に巻き込まれる危険を増大すると考えるがどうか。

⑥市長は憲法に基づく平和の構築を求めるか。

⑦安保3文書、敵基地攻撃能力の保有と大軍拡に賛同するの可否か。賛同しないのであれば、国に何らかの意見を表明すべきでは。

答 安全保障環境を鑑み 安保3文書は理解できる

山下市長 ①②⑤安保3文書の策定は、ロシアによるウクライナ侵攻を教訓にする

とともに、中国が我が国の尖閣諸島周辺における領海侵入や領空侵犯を含め、東シナ海や南シナ海などの海空域において、力による一方的な現状変更の試みを強化していること、北朝鮮が近年、かつてない頻度で弾道ミサイルの発射などを繰り返し、その能力を増強していることなどを踏まえたものと認識している。

国際協調を旨とする積極的平和主義を維持するとともに、平和国家として、専守防衛、非核三原則の堅持など基本方針は不変とされている。

③安保3文書に指摘の記述はないと思われる。国家安全保障戦略では、自由、民主主義、基本的人権の尊重、法の支配といった普遍的価値を維持・擁護するとされている。

④国家予算の財源確保は、国会で議論すべきと考える。市民生活への影響は、今後

も注視していく。

⑥自国のみならず、世界の平和を願う気持ちは、私も含め国民共通のものだと考える。

⑦現在のわが国を取り巻く安全保障環境を鑑みて、平和と安全を維持していくためには、安保3文書については理解することができ

問 基金の活用は

渡辺議員 本市は200億円に迫る基金を保有し、600億円近い市債残高があるが、返済財源確保の見通しを持つていることを繰り返し指摘してきた。市民生活がひっ迫している今こそ基金を暮らし応援に使うべきだ。令和5年度、豊かな基金をどのように活用するのか伺う。

答 効果的に活用する

山下市長 令和5年度、一般会計予算では、各種基金について、前年度より4億3,999万円多い43億5,928万円を充当し、目的に応じて活用している。今後も、社会情勢、事業目



的を勘案した上で、効果的に活用していく。

問 多目的芝生 グラウンド整備は

渡辺議員 優良農地をつぶさず、既存施設の拡大・芝生化を行う考えは。

議会と市民の意見を聞き市政に生かすために、十分な期間を取って、基本計画を確定させるべきと考える。市の所見を伺う。

答 周辺住民等への 説明会開催を予定

山下市長 既存施設の芝生化は、平成27年度から平成29年度にかけて、芝生のコーストを一面整備することを前提に、検討した経緯がある。現在検討中の多目的芝生グラウンドは、複数を整備することとし、候補地の選定に当たっては、市全域を対象とし、利用者の利便性を基本に条件を設定して段階的に進めた。特に、洪水・土砂災害ハザードマップは重視した。

昨年6月から7月にかけて、検討委員会の素案を示し、全市民を対象とした意見交換会を3回開催し、延

べ258人が参加した。併せてパブリックコメントを実施した。8月29日には、議会に答申案および基本計画案を示し、第3回定例会の答弁で、令和5年度1月末に策定を目指していることを明らかにした。12月21日に、議会各派から意見の提出があったことを踏まえ、策定予定時期を2月末に延ばした。

問 危機管理 アドバイザーは

渡辺議員 ①12月議会の一般質問に対する再度答弁を求める。
②不祥事防止に向けた考えは。

答 適切な 任用と考える

山下市長 ①危機管理アドバイザー設置要綱の中で、職務の一つとして例示されている「指導」とは、職員の意識を適切な方向に導くため、専門的見地から、より丁寧な教えを期待するものであり、上司の立場から職員を指揮監督するような権限は与えておらず、適切な任用と考えている。1月

代表質問

26日、管理職を対象に開催した「コンプライアンス研修」では、アドバイザーに講師を依頼したところ、やさしく丁寧な説明で、好評を得ていた。

②公私を問わず公務員としての高い倫理観を持って行動することが必要であり、こうした意識を職場内に浸透させる管理職の役割、我が事として受け入れられる一般職員との共有が重要。職員が自由に意見し、互いに注意し合える開かれた職場環境づくりが必要と考える。



議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページ上で会期日程・質問内容（表題）を公開しております。

令和5年第2回（6月）定例会本会議の日程（予定）

- 6月 13日（火） 午後1時30分～ 市長行政報告・提出議案説明
- 20日（火） 午前10時～ 議案に対する質疑及び一般質問・付託
- 21日（水） 午前10時～ 議案に対する質疑及び一般質問（予備日）
- 28日（水） 午後1時30分～ 各委員会の審査報告・討論・採決

※日程等に変更がある場合もあります。お気軽にお越しください。

※現在、新型コロナウイルス感染症対策として傍聴席（定員42名）を約半数にさせていただいております。

※常任委員会も傍聴可能です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

※NNS・甲府CATV（10チャンネル）で、市議会の録画中継が見られます。

お知らせ

- ・八代庁舎（1階ロビー）のモニターで議会中継をご覧いただけます。
- ・市ホームページにて過去の代表質問、一般質問の動画をご覧いただけます。

2月
定例議会

市民の声

質疑および一般質問

本会議では、5人の議員が質疑および一般質問をしました。

以下は質疑・質問と答弁を要約したものです。



一般質問

渡辺清美議員

発達性読み書き障害
(ディスレクシア)は学習障害のひ

とつのタイプで、小学生の約7〜8
%に存在する。

①小中学校での把握と検査は。

②障害の困難さ軽減のため、タブレ
ット端末やデジタル教科書活用を。

③保護者との連携が重要、見解は。

④障害と合理的配慮への理解促進は。

赤尾教育部長

①保護者からの相談、

児童生徒の訴え、学習や生活の様子

から把握。学校では検査は行ってい

ないが、疑いのある児童生徒には、

支援体制を保護者や本人と相談し、

医療機関につなげている。

②ICT支援員を中心に、一人一台

タブレットの活用事例を共有し、音

声教材等を有効活用した学習の推進

に努める。

③日ごろから保護者や医療機関等と

連携を図り、児童生徒の実態把握に

努めている。必要に応じ、医療機

関・県相談支援センターにつなげて

いる。

④教職員は研修を受講し理解を深め、
児童生徒には教育活動全体を通じて



渡辺清美議員
(公明党)

問 発達性読み書き障害は

答 保護者や医療機関等と連携

インクルーシブ教育の大切さを指導。
保護者には、リーフレット配布など
を通して理解促進を図る。

問 てんかん発作時の

口腔用液は

渡辺議員 てんかんは発作を繰り返

す脳の病気で、年齢・性別・人種に

関係なく発病する。

①発作時の治療薬「ブコラム口腔用

液」投与について学校と情報共有は。

②職員の研修や学校の体制整備は。

答 適切な対応について

再確認

赤尾教育部長 ①条件を満たした場

合、学校での投与が可能であるとの

国の事務連絡の内容を校長に文書で

通知。会議でも投与の適切な対応に

ついて再確認した。

②緊急時に適切な対応ができるよう、

県の研修の受講や校内研修を実施し

ている。児童生徒の医療情報につい

ては、生活管理指導表などで管理し、
遺漏防止に努めている。



河野智子議員
(日本共産党)

問 さらなる子育て支援を求める

答 総合的に検討する

河野智子議員 少子化の一因に教育費にお金がかかることが挙げられるが、物価高騰による家計負担は今後

も続くと思われる。

①保育所や小中学校の給食費の無償化は。

②0～2歳児の保育料の無償化は。

③高校・大学進学時のパソコン購入費用助成は。

中村子供すこやか部長 ①子育て家庭の経済的負担軽減のため、物価高騰による給食食料費の増加分に対する支援を1年間継続。期限を設けない給食費の無償化は、今後総合的に検討する。

②現在、住民税非課税世帯、生活保護世帯を対象に、0歳から2歳までの保育料を無償化している。現時点では、0歳から2歳までの全ての児童を対象にすることは考えていないが、国の動向を注視しながら検討する。

③国の「高等教育の修学支援新制度」、県の「県立高等学校等一人一台端末購入支援給付金制度」があり、現時点で、パソコン購入費用の助成

は考えていない。

問 医療機関・介護事業所等への支援は

河野議員 新型コロナウイルスの5類移行後も、変わらず感染対策は必要とされる中、事業所等の経営に物価高騰が大きな影響を与えている。

①物価高騰対策支援金の支給は。

②コロナ対策に対する支援は。

答 市として必要な支援を検討する

西海保健福祉部長 ①令和3年度に医療機関等に支援金を交付した。今後は、国・県の支援策を注視し、市として必要な支援を検討していく。

②医療機関等に入院・入所する方のPCR検査等の費用の一部を助成している。今後も感染状況や国・県の支援策を注視し、必要な支援を検討していく。

③3年に一度行うが、上空から撮影するため、把握できない事例もある。

④違反転用された農地の課税は、実態把握に努め適切に行う。

⑤個別に公表はしていないが、面積は市ホームページで公表している。



荻野謙一議員
(日本共産党)

問 農地不法転用を問う

答 違反転用の防止と早期発見に努めている

荻野謙一議員 行政運営は全市民に

対し、公平・公正でなければならず、市民ファーストを掲げる、山手市政はどのように考えているのか。

①違法転用が判明した場合の処分は。

②違法転用が判明した件数と原因は。

③航空写真撮影調査での把握は。

④違法転用が判明した場合の固定資産税の取り扱い。

⑤違法転用が判明した場合の公表方法は。

小宮山産業観光部長 ①県と連携し指導を行い、従わない場合は必要な処分または命令を県が行う。

②44件。膨大な筆数があり発見にいたらないものもある。発見されても、関係者の転居、死亡等により是正に時間を要する。

③3年に一度行うが、上空から撮影するため、把握できない事例もある。

④違反転用された農地の課税は、実態把握に努め適切に行う。

⑤個別に公表はしていないが、面積は市ホームページで公表している。

問 困窮世帯等に電気料補助を

荻野議員 インフレによる価格上昇で、特に電気料金・ガス料金の値上げが著しい。

①電気料金・ガス料金高騰に対して補助する考えは。

②電気料金・ガス料金以外に補助している事業は。

③ひとり親世帯・生活困窮世帯・非課税世帯に向け今後の補助の予定は。

答 必要な支援策を検討

西海保健福祉部長 ①国・県の動向を注視し、必要な支援策を検討する。

②臨時特別給付金支給事業、生活困窮者緊急生活支援金支給事業、生活困窮者自立支援金支給事業、子ども家庭支援事業などを実施。

③引き続き、子ども家庭支援事業および女性の生活用品配布事業を実施。今後も国や県の動向を注視し、支援を検討。



山田宏司議員
(清心会)

問 特別支援学級、不登校児童生徒の現状と取り組みは

答 組織的対応、保護者と連携する

山田宏司議員 ①不登校児童生徒。

ア、不登校児童生徒数は。

イ、小中学校の不登校者数の推移は。

ウ、地域ごとの差が生じているか。

エ、不登校者数について市の認識は。

オ、登校できない児童生徒の把握は。

②特別支援学級。

ア、利用している児童生徒数は。

イ、人員配置は適切か。

ウ、差別やいじめへの対応について。

エ、施設の今後の整備計画は。

③不登校児童生徒、特別支援学級。

ア、心的不安のある児童生徒について個別対応のできる職員の配置は。

イ、不登校の兆候がある児童生徒への対応。

ウ、サポート体制の充実。

赤尾教育部長 ①ア、小学生46人、

中学生99人。

イ、平成30年度97人、令和元年度

107人、2年度139人、3年度

160人で、2年度から増加傾向に

ある。

ウ、若干ではあるが地域による差が

見られ、石和町・一宮町は全国平均

を上回る学校が多い。

エ、増加傾向で大きな課題と認識。

オ、毎月、学校から報告を受けて把握。ほぼ登校できずにいる小学生は

5人、中学生は26人。

②ア、小学生170人、中学生68人。

イ、複式学級も多く、教員・専門職員

員ともに十分な配置数とはいえない。

ウ、未然防止や早期発見に努めている。

エ、問題が生じた場合、組織的に対応し、保護者と連携して解決を図る。

エ、バリアフリー化は、新築や改築、大規模改修の際に整備。毎年、各学校における支援の必要な児童生徒の受け入れについて聞き取り、必要な整備を実施。

③ア、専門職として県が全学校にスクールカウンセラーを、教育事務所

にスクールソーシャルワーカーを配置。今後、年間活用時間の拡大を要望していく。

イ、早期段階から教職員間で情報交換し、個別の相談支援やカウンセリングにつながる対応をしている。

ウ、相談支援の充実、教職員の専門性の向上、カウンセリング体制の強化等を図る。



神宮司正人議員
(笛新会)

問 コロナ発生後3年経過 学校現場の対応は

答 教職員が組織的に対応

神宮司正人議員 ①児童・生徒およ

び家族の最近の感染状況の把握は。

②コロナ禍前との比較・状況は。

③25人学級、コロナ禍での対応は。

④不安を持つ児童生徒への対応は。

⑤先生方への影響は。

赤尾教育部長 ①サーベイランスシ

ステムにより、感染状況を共有・把握している。家族の感染状況は把握していない。

②ストレスを抱える児童生徒の増加、体力の低下、特に小学生の持久力に課題が見られる。発達障害・適応障害への影響、風評被害やいじめに大きな変化はないが、不登校者数が増加傾向にある。

③少人数教育はコロナ禍でも密集・密接を避けて教育活動を実施できるのが利点。引き続き、県に対して実施を要望していく。

④スクールカウンセラーと連携して不安の解消に努めている。また、児童生徒にウイルスへの正しい知識を身に付けさせ、感染者に対して適切に接することができるよう指導。

⑤精神的に大きな負担が続いている。

問 後期高齢者の人間ドック助成は

神宮司議員 ①65歳以上の国保人間

ドック受診者数、市の経費総額は。

②後期高齢者の市の検診の受診状況は。

③対象年齢5年延長時の経費は。

④後期高齢者の補助制度実施は。

答 助成の必要性について検討

西海保健福祉部長 ①65歳以上74歳

以下の受診者数は1、301人。人間ドックに助成した総額は、4、

127万円。

②健診対象者は9、601人、受診者1、879人、受診率19・57%。

③必要経費は、約1、500万円と試算。

④人間ドック助成希望は承知しており、今後助成の必要性を検討する。

人事

副市長の選任【同意】

深澤 和仁（石和町下平井）
任期 令和5年4月1日から4年間

黒山恩賜県有財産保護財産区 管理会委員の選任【同意】

菱山 盛文（御坂町蕎麦塚）
任期 令和7年3月末日まで

稲山恩賜県有財産保護財産区 管理会委員の選任【同意】

塩田 昭夫（八代町岡）
石倉 礼二（八代町岡）
田川 幾久（八代町米倉）
武川 仁（八代町米倉）
齊藤 喜嘉（八代町永井）
齊藤 信幸（八代町永井）
任期 令和5年4月1日から4年間

牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区 管理会委員の選任【同意】

加賀美 仁（八代町南）
飯塚 好男（八代町南）
武川 秀雄（八代町永井）
須田 弘仁（八代町南）
佐野 絹子（八代町南）
國京 司（八代町南）
任期 令和5年4月1日から4年間

新倉外三宇施業区恩賜県有財産 保護組合議会議員の選任【当選】

七澤 福富（境川町藤壱）
成島 光一（境川町藤壱）
布施 智樹（境川町藤壱）
長田 正明（境川町藤壱）
任期 令和5年5月12日から4年間

大口山恩賜県有財産保護財産区 管理会委員の選任【同意】

遠山 善明（八代町竹居）
武川 久男（八代町奈良原）
角田 善文（八代町大間田）
高野 哲郎（石和町小石和）
成島 実（石和町小石和）
河阪 昌則（石和町河内）
堀内 豊蔵（御坂町竹居）
任期 令和5年4月1日から4年間

崩山恩賜県有財産保護財産区 管理会委員の選任【同意】

丹澤 実（八代町増利）
丹澤 道雄（八代町増利）
河野 修（八代町増利）
雨宮 良治（石和町砂原）
丸山 信（石和町砂原）
小野 修（石和町砂原）
任期 令和5年4月1日から4年間

春日山恩賜県有財産保護財産区 管理会委員の選任【同意】

前田 一貴（境川町小黒坂）
雨宮 直樹（境川町前間田）
榎野 純二（境川町三柵）
伊神 福陽（境川町大坪）
根津 繁（八代町米倉）
任期 令和5年4月1日から4年間

兜山外五山恩賜県有財産保護 財産区管理会委員の選任【同意】

海野 敏男（春日居町小松）
任期 令和7年3月末日まで

令和5年一般会計予算修正案

議案第17号「令和5年一般会計予算について」では、「多目的芝生グラウンド整備事業」の基本設計に係る経費が含まれていました。

この原案【議案第17号】に対し、笛吹市の財政運営や、優良農地の転用、既存施設の活用など、課題の検討が必要ため、基本設計経費を除いた修正案が提出されました。採決の結果、賛成8人、反対10人で、否決され、その後、原案の採決を行い、賛成10人、反対8人で、可決されました。

令和5年一般会計予算付帯決議

その後、可決された、令和5年一般会計予算【議案第17号】に対しての、付帯決議が提出され、採決の結果、賛成16人、反対2人で、可決されました。

付帯決議では、「市の考えをまとめた『多目的芝生グラウンド整備基本計画』の策定に当たって、議会から提出した意見に対する市の考え方などが示されておらず、十分な議論が尽くされていない面もある。未来にわたり市民に誇れる多目的芝生グラウンドを整備するために、市は、議会に対する説明を丁寧に行うとともに、議論を重ねながら事業を進めること」が決議されました。

発議第1号

笛吹市議会の個人情報 の保護に関する条例の 制定について

国の個人情報保護法の改正により、新しい個人情報保護法の規定が適用されましたが、地方議会は、国会と同じように、新しい個人情報保護法の適用対象外となり、議会における個人情報の取扱いは、議会自らで対応することになりました。

それに伴い、新しい個人情報保護法の規定が施行するまでに、市議会における個人情報保護に関する条例を制定することになったので、今定例会で、発議し、賛成全員で可決されました。

総務常任委員会

委員長 荻野 謙一 副委員長 河野 正博

委員 河野 智子 渡辺 清美
前島 敏彦 保坂 利定

3月7～8日、14～17日、23日の7日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正、令和4年度補正予算、令和5年度当初予算、普通財産の譲渡を審査し、原案の通り可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈総務部所管〉

Q 備蓄品整備事業で、食料・飲料水の消費期限・賞味期限を迎えるものをどのようにしているか。

A 食料の期限が近づいたものは、市内の生活困窮者の方に配布し、残りをフードバンクに寄付。飲料水は、期限が過ぎると使用はできないが、生活用水として使用できるため、3年分はストックし、それ以上古いものは廃棄をしている。

【説明】

かすがい東保育所の譲渡する建物の金額算定は、不動産鑑定士により鑑定額を算出し、社会福祉法人が園舎を新築する場合、国の交付金を活用すると負担割合は国が2分の1、市が4分の1、社会福祉法人が4分の1となることから、その鑑定額の4分の1を売り払う金額とした。

〈総合政策部所管〉

Q 事務系情報システム事業の、ひとり1台PC維持整備事業について、今回減額する予算の説明を求める。
A 令和4年度分として購入するシンククライアント端末100台は、半導体不足

で今年度中の発注が困難となったため減額。今回の減額分は、当初予算で令和5年度購入分と併せて計上した。

Q 笛吹市消費喚起キャンペーン事業の財源である、まちづくり基金の現在高は、令和5年度末に51億9、765万円を見込む。ここから、事業費である9億229万7千円を引いた額が、令和5年度末の現在高。

Q 昨年12月に議会から各会派の意見を出したが、基本計画策定に当たりどのようにつえたか。

A 400㎡トラックを含めた陸上競技施設の整備の意見は、トラック内側のグラウンドを含め、約20、000㎡の面積を要し、市が検討している多目的芝生グラウンドが1面当たり約9、000㎡であり、約倍

の面積が必要になる。陸上競技に關した施設は多目的芝生グラウンドとは切り離し、既存の社会体育施設を改修するなど別に考えていく。また、既存施設を多目的芝生グラウンドにとの意見は、整備候補地の選定に当たり、市全域を対象とし、市民および市外からの利用

や、浸水想定区域、土砂災害警戒区域に含まれない地域を要件としたため、候補地に該当する要件を満たす既存施設はなかった。クラブハウスやその他付帯施設等の整備に関する意見は、基本計画中に反映した。

Q 既存の社会体育施設の芝生化は、その施設を使用している利用者の反対等もあり、整備に至らなかったとの説明だが、陸上競技施設は、既存の社会体育施設を改修する判断理由は。

A 多目的芝生グラウンドの整備で、サッカーやグラウンドゴルフの競技者は、既存の施設を使わなくなり、野球やソフトボールが十分できる。利用者のすみわけが進み、それぞれの施設を競技特性に応じた専門性の高い施設に整備していく。

【意見】

基本計画策定までの議会への対応や説明は十分でなく、議会との意思疎通が図れていない。今後、議会との意見交換、進捗やその結果を議会へ報告し、議会と意思疎通を図ること。また、今後、詳細な資料提供、ならびに事前説明を行うなど、積極的な情報提供を求める。

〈消防本部所管〉

Q ドローンの整備状況は。
A 今年度、1機購入した。ドローンの国の免許制度等が1月から変わり、国交省へ機体の登録作業をしており、その認可が下りて屋外で飛行ができる。令和5年度は2名の養成を計画。

〈市民環境部所管〉

Q 「窓口デジタル化事業」のうち、「窓口業務DX事業」の「書かない窓口システム」について、詳しい説明を。

A 住民異動等の際、転出証明書やマイナンバーカード等をスキヤナーで読み込み、職員が聞き取りを行い書類を作成する。市民が申請書に記入する必要がなく、窓口に来庁された方の負担を軽減できるシステムの導入を予定している。

Q キャッシュレス決済導入事業の決済方法は。

A Paypay（ペイペイ）やSuica（スイカ）等のQRコード決済や電子マネーを考えている。クレジットカード等を利用した決済サービスの対応も、拡張性あるものとなっている。

教育厚生常任委員会

委員長 中村 正彦 副委員長 山田 宏司

委員 岡 由子 神宮司正人
中川 秀哉 渡辺 正秀

3月7～8日、14～16日の5日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正、令和4年度補正予算、令和5年度当初予算を審査し、原案の通り可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次の通り。

〈市民環境部所管〉

Q 国民健康保険課の審査では、均等割を減免することとした考えについて説明を求める。

A 市は総合計画「ハートフルタウンふえふき」に掲げる施策として、次世代を担っていく子どもたちのため、さまざまな分野で子育てを支える環境づくり、子育て世帯への支援を展開しており、その一環であると考えている。当該減免は、今後も全国市長会等を通じて、国へ拡充等を要望していきたい。

Q 県内の市町村におけるこの条例改正のような均等割減免措置の実施状況について説明を求める。

A 県内では実施している自治体はなく、笛吹市が最初となる。

Q ごみ分別ガイドは、日本語版・中国語版以外の言語での作成予定はあるか。

A 英語・日本語・中国語の3言語を作成する。すでに英語版は作成中で、希望者に配布できる予定。また、令和5年度作成予定の日本

語版・中国語版以外の言語は、その必要性を精査する中で検討していく。

〈子供すこやか部所管〉

Q 放課後児童健全育成事業所で、感染症および食中毒の予防等のための研修・訓練の定期的な実施を努力義務にした理由は。

A 条例文は、国の定める参酌基準に基づいた表記としているが、運用は市として義務化と同様の対応をすることも可能なので、所管課と現場とで協議を進める。

Q 特殊建築物の定期調査報告について、すべて同じ時期に実施しているのか。

A 定期報告は3年に一度実施しており、令和5年度は、石和地区にある3カ所の保育所が該当している。

Q 調査報告時に修繕等の指摘箇所があった場合、どのようにしているのか。

A 調査した年度内に、対応している。

〈保健福祉部所管〉

Q 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

について説明を求める。

A 健康診断データ等から、高齢者の健康課題を分析し、一人の高齢者に対し長寿支援課・国民健康保険課・健康づくり課の3課で、一緒に考えていくことができる。令和5年度は重複受診をしている高齢者の訪問指導や、健康状態不明者の把握等を進めていく。



委員会審査

〈教育委員会所管〉

Q 学力向上支援スタッフ追加配置事業について、今後の対策の説明を求める。

A 人材確保が非常に大変な状況で、県教委からもらっている午前中勤務の加配教員を、午後は市の学力向上支援スタッフとして任用し、同じ教員が1日勤務し、次の授業へ繋げることを引き続き行っていく。

Q 加配についてはどうか。

A 加配はさまざまな種類があり、県教委の基準に基づき1日勤務の教員と、半日勤務の教員が配置される。

Q 甲斐国分寺跡および国分尼寺跡の公有化率と、残り用地の割合は。

A 甲斐国分寺跡は約80%が完了、残りは20%。国分尼寺跡は87%が完了、3年をめどに公有地化を進める。

Q 整備完了後の活用は。

A 主要建物があった中心部分などは、環境を整えながら、学習の場としての利用を考えており、周辺エリアについては、公園など憩いの場として考えている。

建設経済常任委員会

委員長 武川 則幸 副委員長 神澤 敏美

委員 落合 俊美 野澤今朝幸
古屋 始芳 海野利比古
小林 始

3月7～8日、14～16日、23日の6日間、委員会を開催。付託された令和4年度補正予算、令和5年度当初予算を審査し、原案のとおり可決すべきものと決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

〈建設部所管〉

Q 新山梨環状道路関連道路路整備事業で、15人の地権者が未契約とあるが、うち8人がすでに契約済みで残り7人となっているとのことだが、見通しはどうか。難しい問題等があるのか。

A 7人のうち6人は既に契約済み。前払い金のみを支払いとなっている。また、残りの1人も相続等の問題があり遅れているが、契約見込みとなっている。

Q 都市公園施設長寿命化事業における都市公園遊具更新の説明を求める。

A みさか桃源郷公園は、都市公園長寿命化計画に基づき更新を行うための設計業務。設計内容はスプリング遊具、ロープクライミング、プレイウォール、ロングすべり台などの更新で、令和5年度に設計を、令和6年度に工事予定。

【説明】

遊具更新は、八代ふるさと公園の遊具広場にある遊具更新工事を行う。既設のローラーすべり台、舟形複合遊具等を撤去し新たな複



フォトコンテスト入賞作品観覧

〈産業観光部所管〉

合遊具として更新を行う。遊具選定は実績ある遊具メーカー18社から提案を受け、安全性や施工性、遊びの内容等を考慮し4つに絞った。

Q 「森林保全対策事業」の委託料において、ナラ枯れの伐採を行っているようだが、松くい虫は落ち着いてきているのか。また、ナ

ラ枯れの場所はどこなのか。

A 松くい虫も引き続き被害が出ているが、相対的には減ってきている。また、ナラ枯れは始めて3年くらいで、市内の広範囲でも見受けられるようになった。

Q 貨物運送事業者燃料価格高騰支援金事業の、対象となる業種は。

A 緑ナンバーと黒ナンバーの運送業、冠婚葬祭業、宅配事業者、引越事業者、建材事業者、産業廃棄物事業者等となる。

Q 全国的な支援金か。

A 全国各地で実施。県内では韮崎市、甲州市、山梨市、北杜市で実施している。

Q 笛吹市消費喚起キャンペーン事業を進めるに当たり、事業者に対し仕組み等を分かりやすく説明を。

A 商工会等を通じ事業者に対し丁寧に説明を行う。

Q 特定鳥獣管理捕獲数の各町への割り当てはあるか。

A 県が各市町村の捕獲割り当てを行っている。市では割り当てられた数を基に、各地区の猟友会へ捕獲数を知らせ、捕獲具合により市

の中で数を調整している。

Q 電気柵の補助金を申請した場合、1件当たりの補助額はいくらか。

A 資材費の2分の1で、上限3万円までの補助。

Q スポーツ合宿・文化合宿支援および世界農業遺産認定活用事業で、1人千円の補助があるが、人数制限は。

A 予算内執行で人数制限はある。スポーツ・文化合宿は5、500人、世界農業遺産認定活用事業は4、000人を予定している。

〈公営企業部所管〉

Q 原水および浄水費の、浄・配水場保守管理委託について詳細説明を求める。

A 点検等の結果を踏まえ、水道施設を安定的に稼働させるための委託で、対象施設は崩山第1・第2浄水場の保守業務、大船浄水場関係の委託、境川浄水場・御坂浄水場関係の委託、中川の配水場清掃委託などを予定。施設数が多いため全体を合わせると今回計上した予算額となる。



未来の選択



御坂町二之宮
花田 玲臣
(笛吹高校)

コロナ世代と呼ばれるながらも充実した高校生活を送った私たちは、未来へ羽ばたく翼とその未来を創る選挙権を手に入れた。

1月半ば、18歳を迎えた私たちには早速その権利を使う機会が設けられた。学校に期間限定の期日前投票所が設置されたのだ。事前に勉強し、山梨の未来を託すつもりで1票を投じた。初めての投票を終えた私の心は、一人の有権者として政治に参加できた、という満足感でいっぱいだった。

私は高校を卒業後も山梨での生活を考えている。より良い未来を創るためにも必ず選挙に行きたい。

若者の政治参加



境川町大坪
石川 優心
(笛吹高校)

先日、山梨県知事選挙がありました。選挙権年齢が18歳以上に引き下がり、私は緊張しながらも学校で期日前投票を行いました。

より良い社会の実現のためには若者の意見も必要不可欠です。初めての投票に参加して、選挙は若者が政治に関心を持ち、社会に参画するためのとてもいい機会だと思いました。

私は福祉の勉強をするために進学します。子どもから高齢者まで、すべての人が安心して暮らせる社会をつくるために勉強に励むとともに、私自身も社会を担う一員として政治に参加していきたいと思っています。

表紙説明

本庁舎前の 土手	八代 ふるさと公園
開通した 砂原橋(市道I-13号線)	
藤壘の滝 大窪いやしの 杜公園	御坂 金川の森公園

編集後記

コロナの発生から3年以上の時間が過ぎ、感染対策が緩和されてきています。出かける時はマスク着用が必要でしたが、病院や高齢者施設、混雑した場所等、特定の場所を除いては、マスクをつける必要がなくなり、飲食店で多数の会食もできるようになるなど、コロナ前の日常に近づいているのではないかと感じます。

しかし、昨年始まったロシアのウクライナ侵略により、物価は高騰し、特に電気代の値上がりは家計に大きく響いています。電気代が払えず電気を止められて凍死された方がいると聞き、心が痛みます。国民の命を守るために、軍事費を増やすのではなく、物価高騰対策に力を入れていただきたい。そして、政府には戦争を終わらせ平和な世界にするための外交に力を入れていただきたいと思っています。

議会広報編集委員会

副委員長 河野 智子